

令和5年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	12	議席 番号	15	氏名	船 山 恵 子 議員	1 / 1
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
1	災害に対応した都市 づくりについて			<p>2月6日にトルコ南部のシリア国境近くで発生した地震は、2月21日現在4万6,000人以上の犠牲者を出している。プレート境界にある長大な活断層が大きく動いたと見られている。地震大国に住む私たちも今回の惨禍を教訓としていかなければと改めて思い、令和4年9月定例会においても質問したが再度伺う。</p> <p>(1) 当市では、市内を走る活断層の上やその近くに、家屋等が立ち並んでいる現状を認識していると思う。その対策として、防災マップの活断層帯位置図等を活用し災害に備えてほしいとしているが、現状の対策で十分と考えているのか。</p> <p>(2) 災害時、市内において地域的に被害が甚大なところに対して、被害が少ない自治会から支援が早急にできるように区長会においては連携していると聞いているが、どのような体制になっているのか。</p> <p>(3) 安全確保のために自治会の役割は大きいと考えるが、年々自治会の加入率が全国的に低下している。富士宮市内125区の5年間の推移はどうか。</p>		市 長 副 市 長 関係部長
2	観光資源について			<p>当市では富士山周辺の観光に力を入れているが、その中には未開拓と思われる場所もある。また観光客にとっては観光客を対象とした商売をしている人と、そうでない人の区別はない。そこに住む人、道を散歩している人全てが観光と一体となって印象に残る。そこで、富士山と寄り添い、心豊かに生きる富士宮市の観光について提案したい。</p> <p>(1) 国の管理施設の大沢崩れ砂防ダムや、静岡県管理施設である大倉川農地防災ダムを、新たに富士宮市北部地域の観光地として含むことはできないか。</p> <p>(2) 富士宮市民全てが観光大使といった自覚を持てるキャンペーンなどができないか。</p>		市 長 副 市 長 関係部長